

令和4年度行政事業レビューシート (公正取引委員会)

事業名	「フリーランス・トラブル110番」外部委託事業			担当部局庁	経済取引局取引部	作成責任者				
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	取引企画課(企画班)	岡田 博己				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「未来投資戦略2017」(平成29年6月9日閣議決定)、「規制改革実行計画」(令和2年7月17日閣議決定)、「成長戦略フォローアップ」(令和3年6月18日閣議決定)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	フリーランスと発注事業者等との間のトラブル等についてワンストップで相談を受け、紛争解決のための援助を行うことで、フリーランスが安心して働ける環境を整備することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	フリーランスと発注事業者とのトラブルについて、ワンストップで相談できる窓口である「フリーランス・トラブル110番(以下「110番相談窓口」という。)」において、以下の事業を実施する。 ・相談員(弁護士)による電話・メール相談の対応及び高度な専門性を要する個別相談対応の実施。 ・裁判外紛争処理手続(ADR)による迅速かつ穏便なトラブルの調停の実施。 ・フリーランスガイドラインについての問合せへの説明対応の実施。 ・相談事業の周知のためのインターネット広告等の実施。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	22	35			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	0	0	22	35			
	執行額		-	-	-	-	-			
	執行率(%)		-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	競争政策推進委託費	22	35	110番相談窓口寄せられるフリーランスからの相談件数は増加傾向にあり、現在の体制では人手不足のため電話に出ることが出来ずに対応できなかったり、メール相談に対する回答までに時間を要したりするなど、高いニーズに応えきれてはいない状況にある。そこで、令和5年度からは相談対応にあたる弁護士や、事務職員の人員増加を予定しており、本事業の委託費用の増加が見込まれるため、増額している。						
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	計	22	35							
活動内容 (アクティビティ)	フリーランスから、発注者等との間のトラブル等についてワンストップで相談を受け、紛争解決のための援助を行う。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	多くのフリーランスが110番相談窓口を認知し、利用できている。	110番相談窓口に対する相談件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	7,200	7,200	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(X)÷110番相談窓口に対する相談件数(Y) (相談件数(Y)については、厚労省・中企庁・公取委の負担割合(相談割合)3:1:1に応じて7,200件の見込み件数を按分)			単位当たりコスト	円	-	-	-	13,265	
				計算式	X / Y	-	-	-	19,100,400 / 1,440	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								-年度	4年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	相談者の80%以上から、満足との回答を得る	フリーランス・トラブル110番 利用者の満足度 (計算式) 「とても満足」「満足」と回答 した人数/アンケート回答 者数	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	フリーランス・トラブル110番利用者に対するアンケート								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	2 公正な取引慣行の推進			
		施策	2-3 中小事業者を取り巻く取引の公正化		政策評価書 URL 該当箇所	
	生計画改革工程表 2021	新経済・財政再生計画改革工程表	分野:	-		
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-		
			該当箇所	-		

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	フリーランスの働き方については、一般的には、発注事業者に対して立場が弱く、不利益を受けやすい立場にある。また、企業に雇用されている労働者と比較して紛争解決の手段が十分に整備・周知されておらず、労働基準関係法令の保護対象となるか否かの判断が分かりにくいという指摘がある。加えて、フリーランスの働き方については、トラブル等が発生した場合の相談窓口を求める声は多く、大いに利用もされていることなどを踏まえると、本事業は国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	政府が決定した「成長戦略フォローアップ」等而言及されている内容であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	フリーランスについては、多様な働き方の拡大、ギグ・エコノミーの拡大による高齢者雇用の拡大、健康寿命の延伸、社会保障の支え手・働き手の増加などに貢献することが期待される。かかるフリーランスについては、発注者とのトラブル等が発生した場合の相談窓口が不十分であり、その整備を求める声は多いことを踏まえると、フリーランスからの相談に対して、一元的に対応可能な窓口を整備し、丁寧な相談対応を実施することはフリーランスが安心して働ける環境を整備することに資するものとして優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、公正取引委員会及び中小企業庁が厚生労働省に支出委任を行い、厚生労働省において支出先を選定している。厚生労働省によると、本事業は一般競争契約(総合評価方式)で調達しており、結果として一者応募となった。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
		-	
		-	
		-	
		-	

点検・改善結果	点検結果	本事業については、令和4年4月に452件の相談を受け付けており、相談者に対するアンケート(令和4年4月)において、相談者の80%以上が満足と回答するなど、利用者から高い満足度を得ることができた。
	改善の方向性	-

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性については、今後よく確認しつつ、必要があれば今後の改善につなげてほしい。 ・利用度が向上した要因については、他の相談窓口の利用度向上に向けて参考となるので、共有しておくことが望ましい。 ・政府として優先度が高い事業であり、引き続き利用者から高い満足度が得られるよう厚生労働省等と連携し、事業内容の必要な見直しを図ってほしい。 ・現段階において、公正取引委員会として費用に見合った効果があるかは疑問はある。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見のとおり、引き続き、本事業内容を維持する。政府としての優先度の高さ、利用度が向上していることを踏まえ、より高い利用者満足度を得るべく、厚生労働省等と連携しながら不完了コール(人員不足のため対応できなかった電話相談)解消等に努める。また、次年度から、利用者アンケート等を通じて適切な事業の有効性の適切な確認を行うとともに、必要に応じて事業内容の見直しを行ってまいりたい。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

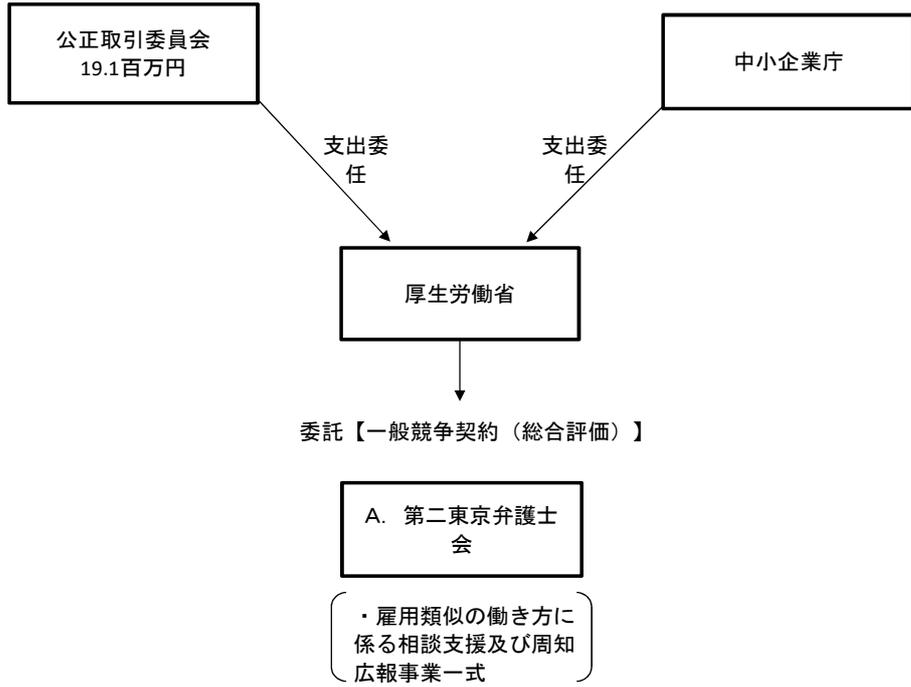
備考

-			
---	--	--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-	-	-	-
平成24年度	-	-	-	-
平成25年度	-	-	-	-
平成26年度	-	-	-	-
平成27年度	-	-	-	-
平成28年度	-	-	-	-
平成29年度	-	-	-	-
平成30年度	-	-	-	-
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

	A.			B.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費		「フリーランス・トラブル110番」外部委託事業	19.1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
計			19.1	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	第二東京弁護士会	3010005003969	フリーランスから、発注事業者等との間のトラブル等についての相談を受けるなど、紛争解決のための援助を行う。	19.1	一般競争契約 (総合評価)	1	92.4%	-